

学年	1	科目:臨床実習 I	受講者数	83
学科	共通	教員:	回答率	89%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
の I 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.5	4.4
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.4	4.4
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.5	4.3
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.5	4.4
め II 授業 の 進	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.6	4.4
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.6	4.3
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.6	4.3
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.7	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.2	4.3
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.6	4.3
	(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.6	4.3
III 評 価 の 進 捗	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.6	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.6	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.6	4.3
の IV 取 組 み の 進 捗	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.8	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.8	4.4
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.7	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.7	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	2
課題の質・量	1
実習の進行速度	1
関連する情報や話題の提供	2
指導者とのコミュニケーション	2
実習生同士のコミュニケーション	2
教科書、教材、資料の選定	2
控室など施設環境条件	0
	0
	0
	0
特になし	69

自由記載

- これ以上ないと思うくらい最高の施設と最高の指導者様、最高の先生方でした。

そこはまだやってないですと言っても、やったと思うけどな一笑と馬鹿にされたと感じる口調で、学んだとした前提で話が進んだ。どこを学んで臨床実習に行っているのか事前に実習者に説明してほしかった。また、見本を見せてもらっていないのに会話ができない患者さんとどうやってコミュニケーションを取り続けるのかが問題だねと言われ、ジェスチャーや、頷く、首を振ることで答えられそうな質問をするよう心がけていたがもちろんリハビリ30分間も話し続けられるわけがなく、実習が終わった今でも答えがわからない。自分で考えることも大切だとは思いますが、見本を見てもらえなければ模倣も出来ないと思う。まあ、次の実習は辛いと思うよ笑(この実習先はまだ優しい方だと言う意図だと受け取った)と言われ、次の実習がより憂鬱になった。
- 実習中、デイリーを見ながら内容についてのフィードバックがありました。

その時に、あ、笑っちゃダメだよwみたいな感じで笑いながら読まれて先生はバカにしたつもりはきつくなかったと思いますが、私は真剣に書いて提出していたので悲しい気持ちになりました。

実習中のSVの方の声があまりにも小さくて全然聞き取れませんでした。聞こえないことを伝えたのですが改善されることなく聞き取れない事が多くとても大変でした。

実習後のレポートについて。PTとOTとで提出の仕方に差がありました。OTはほぼ80分位で書いて提出。PTは自宅で書いて提出の事でした。私達も成績の40%に含まれる訳ですから時間をかけて丁寧にやりたかったです。書く時間の余裕が少なかったです。これだけではなくPTOTとで差が色々あると結構聞きますが、統一して欲しいです。

担当教員からのコメント

学年	2	科目:臨床実習Ⅱ	受講者数	40
学科	PT	教員:	回答率	88%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
のⅠ 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.7	4.4
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.7	4.4
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.7	4.3
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.7	4.4
Ⅱ 授業の進め方	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.7	4.4
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.7	4.3
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.7	4.3
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.7	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.5	4.3
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.7	4.3
	(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.6	4.3
Ⅲ 総評価	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.7	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.6	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.6	4.3
のⅣ 取組なみた	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.7	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.7	4.4
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.5	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.5	4.2

自由記載

担当教員からのコメント

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	0
指導者とのコミュニケーション	0
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
	0
	0
	0
特になし	35

学年	3	科目:臨床実習Ⅳ	受講者数	35
学科	PT	教員:	回答率	100%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
のⅠ 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.7	4.4
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.6	4.4
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.6	4.3
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.6	4.4
Ⅱ 授業の 進め方	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.7	4.4
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.6	4.3
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.7	4.3
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.7	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.5	4.3
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.6	4.3
	(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.6	4.3
Ⅲ 総 評価	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.7	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.8	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.7	4.3
のⅣ 取 組 み	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.9	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.9	4.4
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.6	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.7	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	1
課題の質・量	1
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	1
指導者とのコミュニケーション	2
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	3
	0
	0
	0
特になし	28

自由記載

- ・ 実習先の指導者さんからシステムの使い方の質問など学校側の意図が伝わっていないような場面に遭遇しました。
- ・ 質問に答えてくれない。・態度が悪くなる。
- ・ 今後の自身の課題や患者さんへの問題抽出の視野が広がった。

担当教員からのコメント

学年	3	科目:臨床実習Ⅲ	受講者数	27
学科	OT	教員:	回答率	100%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
のⅠ 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.7	4.4
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.6	4.4
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.5	4.3
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.5	4.4
Ⅱ 授業の 進め方	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.6	4.4
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.6	4.3
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.4	4.3
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.7	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.4	4.3
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.6	4.3
	(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.6	4.3
Ⅲ 総 評価	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.7	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.8	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.8	4.3
のⅣ 取 組 み	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.9	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.7	4.4
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.6	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.6	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	1
実習の進行速度	1
関連する情報や話題の提供	1
指導者とのコミュニケーション	2
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	1
控室など施設環境条件	1
	0
	0
	0
特になし	24

自由記載

- ・ 自分の興味を持っている分野の希望のアンケートをとってほしいと思った。
- ・ 今回の実習では、個人的に指導者の方と性格が合わず、またそのことを学校や周りの人に伝えることができずに実習を終えてしまった。
- ・ 事例情報シートの枠が狭すぎるので改善して欲しいです。簡潔にまとめる必要性も分かりますが、特に服薬情報は合併症が多くそれらが事例対象者様のニーズに関わって来る場合は省略することができません。問題点、利点の枠も狭すぎて枠内に収まりませんでした。特に出来ることに着目すると利点が沢山あるので大変でした。生育歴、現病歴も年配の患者様で早期に疾患を発症したり、家庭環境が複雑な方だと収まらず、発症の一因になっていると予測されることもやむを得ず省略しなければなりません。是非とも改善していただくようお願いします。

担当教員からのコメント